サポート情報記事

# QR コードに会社のロゴを追加する方法

2026 © Vitextra SIA. All rights reserved.

# 免責事項

本免責事項の適用上、次のとおり定義します。

- **会社** (本免責事項では「当社」と表記します) とは、Vitextra SIA (Matīsa iela 61-25, Rīga, LV-1009, Latvia) を指します。
- **本ドキュメント**とは、ナレッジベースの記事を指します。
- **お客様**とは、本ドキュメントにアクセスする個人、または該当する場合は、その個人が本ドキュメントにアクセスまたは使用する際に代理となっている会社その他の法人を指します。
- **本 Web サイト**とは、https://vitextra.com からアクセスできる Vitextra を指します。

## 免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、一般的な情報提供のみを目的としています。

当社は、本ドキュメントの内容における誤りや脱漏について、一切責任を負いません。

いかなる場合も、契約上の訴訟、過失、その他の不法行為上の訴訟であるかを問わず、本ドキュメントの内容の使用に起因または関連して生じる、特別損害、直接損害、間接損害、結果的損害、付随的損害、またはその他一切の損害について、当社は責任を負いません。当社は、事前の通知なく、いつでも本ドキュメントの内容に追加、削除、または変更を行う権利を留保します。

## 誤りおよび脱漏に関する免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、関心のある事項に関する一般的な指針を示すことのみを目的としています。そのため、本ドキュメントの内容を最新かつ正確に保つために当社があらゆる予防措置を講じている場合でも、誤りが生じる可能性があります。また、法律、規則、規制は変化するため、本ドキュメントに記載されている情報に遅れ、脱漏、または不正確な点が含まれる場合があります。

当社は、誤りや脱漏、またはこの情報の使用によって得られた結果について、責任を負いません。

## フェアユースに関する免責事項

当社は、著作権者から明示的な許可を得ていない著作物を使用する場合があります。当社は、批評、論評、ニュース報道、教育、学術研究、または調査の目的で、そのような資料を提供しています。

当社は、これが、米国著作権法第 107 条に規定されている、当該著作物の「フェアユース」にあたると考えています。

お客様が、フェアユースの範囲を超えて、ご自身の目的で本ドキュメントの著作物を使用することを希望される場合は、著作権者から許可を得る必要があります。

## 「自己責任での使用」に関する免責事項

本ドキュメントのすべての情報は、完全性、正確性、適時性、またはこの情報の使用によって得られる結果について何ら保証することなく、また、性能、商品性、特定目的への適合性に関する保証を含むがこれらに限定されない、明示または黙示を問わずいかなる種類の保証もなく、「現状のまま」提供されます。

当社は、本ドキュメントに記載されている情報に依拠して行われた判断や措置、または結果的損害、特別損害、もしくはこれらに類する損害について、たとえそのような損害の可能性について知らされていた場合でも、お客様またはその他の者に対して責任を負いません。

## お問い合わせ

本免責事項についてご不明な点がある場合は、メール (support@vitextra.com) でお問い合わせください。

# 目次


はじめに 4

開始する前に 4

手順 **1.** ロゴをアップロードする 4

手順 **2.** サイズと余白を調整する 5

手順 **3.** 誤り訂正レベルを上げる 6

手順 **4.** 確認して保存する 7

ロゴの置き換えと削除 7

まとめ 7

# はじめに

QR コードの中央にロゴがあると、読み取る前に、それが誰のコードなのかが伝わります。QR Code Generator は、コードの中央に画像を配置してその下のドットを取り除き、画像で隠れたデータは QR コードに組み込まれた誤り訂正によって復元されます。この記事では、ロゴをアップロードし、サイズを調整して、コードを読み取れる状態に保つ方法を説明します。

# 開始する前に

画像ファイルを用意します。

- サポートされている形式は、**JPG**、**JPEG**、**PNG**、**SVG** です。
- 最適な結果を得るには、300x300 ピクセル以上の画像を使用してください。
- 正方形、または正方形に近いロゴが最適です。横長のロゴは細い帯状の領域にしか収まらず、細部が小さくなります。
- 背景が透明な PNG または SVG を使用するか、ロゴ自体に単色の背景を付けることをお勧めします。

# 手順 1. ロゴをアップロードする

1 Web パーツのあるページを開きます。すべての訪問者に対してロゴを保持するには、ページを編集モードで開きます。
2 いずれかのタブでコードのデータを入力し、プレビューに QR コードが表示されるようにします。
3 タブの下にある**ロゴ**セクションを展開します。
4 **画像のアップロード**をクリックし、ファイルを選択します。

プレビューのコードの中央にロゴが表示され、**ロゴ**セクションにはアップロードした画像のサムネイルが表示されます。別の種類のファイルを選択した場合、セクションに *サポートされているファイル形式: JPG、 JPEG、 PNG、 SVG.* というメッセージが表示され、コードは変更されません。




*ロゴをアップロードしたロゴ セクション*

# 手順 2. サイズと余白を調整する

アップロードが完了すると、**ロゴ**セクションに　2　つのスライダーが表示されます。

| 設定 | 範囲 | 既定値 | 機能 |
|---|---|---|---|
| **Logo size** (ロゴのサイズ) | 0.1 ～ 0.5 | 0.4 | ロゴが占めることのできるコードの割合です。値が大きいほどロゴが大きくなり、隠れるドットが増えます。 |
| **Logo margin** (ロゴの余白) | 0 ～ 20 | 5 | ロゴと最も近いドットとの間の空白です。余白によってロゴが模様 |

| 設定 | 範囲 | 既定値 | 機能 |
| --- | --- | --- | --- |
| | | | から切り離され、見やすくなります。 |

スライダーを動かしながら、プレビューを確認します。小さめのロゴから始めて、コードが確実に読み取れる範囲でのみ大きくしてください。

## 手順 3. 誤り訂正レベルを上げる

ロゴはデータの一部を隠し、スキャナーはその部分をコードの冗長データから復元します。冗長性の量は、**Error Correction** (誤り訂正) セクションで設定します。

1 **Error Correction** セクションを展開します。
2 大きなロゴの場合は**高**を選択します。小さなロゴであれば、既定値の **Quartile** で十分です。

**低**と**中**のレベルでは余裕が少なすぎるため、ロゴ入りのコードが読み取れなくなる可能性があります。




*レベル「高」を選択した Error Correction セクション*

**警告**

ロゴが大きすぎても、プレビューに警告は表示されません。ロゴ、そのサイズ、または誤り訂正レベルを変更した後は、必ずスマートフォンでコードを読み取ってください。コードが読み取れない場合は、**Logo size** を小さくするか、**Error Correction** を上げるか、エンコードするデータを短くしてください。

## 手順 4. 確認して保存する

1 スマートフォンでプレビューを読み取り、コードで意図したものが開くことを確認します。
2 **ダウンロード**または**コピー**で結果を取得します。ロゴは、どの形式の画像にも含まれます。
3 ページが編集モードの場合は、ページを保存するか再発行します。ロゴは Web パーツの構成の一部としてページと一緒に保存されるため、訪問者にはロゴ入りのコードが表示されます。

**メモ**

画像は、サイトのライブラリではなく Web パーツの構成の中に格納されるため、画像を表示するために追加のアクセス許可が必要になるユーザーはいません。同じ理由から、非常に大きなファイルは避けてください。数メガバイトのファイルは、ページを重くします。ロゴは数百ピクセルあれば十分です。

## ロゴの置き換えと削除

- ロゴを置き換えるには、もう一度**画像のアップロード**をクリックし、別のファイルを選択します。サイズと余白の設定は保持されます。
- ロゴを削除するには、**画像の削除**をクリックします。コードの中央にドットが戻ります。

## まとめ

QR コードにブランドを反映するには、**ロゴ**セクションでロゴをアップロードし、**Logo size** と **Logo margin** で調整して、大きなロゴの場合は **Error Correction** を**高**に設定します。唯一の確実なテストは、実際のスマートフォンで読み取ることです。

ヒント

コードの色をロゴに合わせるには、KB10265. QR コードのデザインのカスタマイズ: 図形、色、グラデーション、コーナーを参照してください。